

## 第40回：究極の選択・・・赤か青か？

千名を超える観光客が乗る英豪華客船ブリタニック号が北大西洋を航行しているとき、テロリストを名乗る男より船内に電話が入る。ヒンドゥー教の神ジャガーノートと名乗る謎の男は、船内に仕掛けた時限爆弾は明朝に爆発し、船体は木っ端微塵になるだろうと告げ、50万ポンドの身代金を要求する。その電話が悪戯でない証拠に犯人は船内で小規模な爆発を起こしてみせる。犯人の要求に対しイギリス政府は身代金の支払いを拒否し、爆弾処理の専門家ファロン中佐とそのチームを客船に送り込む。リチャード・ハリスが主演する映画『ジャガーノート』のクライマックスは爆弾処理の最終場面。ここで、最後に赤と青の2本の電線が残る。一方のコードを切れれば無事任務完了だが、もう一方のブービートラップを切れれば大爆発で一巻の終わりとなる。ファロン中佐は身柄を拘束された犯人が昔の上官だと知り、上官と電話で対決して赤線か青線か口を割らせようと必死に説得する。上官は遂に観念、重い口を開き「Cut the blue wire (青線を切れ)」という。これを聞いたファロンは暫し考え、最後の決断を下す・・・ネタバレになるのでここまでとするが、12月に来日した中国のニューリーダー習近平国家副主席のニュースを見たとき何故かこのラストシーンを思い出した。

中国の胡錦濤主席は2012年の第18回共産党大会で引退し、新指導部にバトンを渡すことになりそうだ。党規約で明文化されているわけではないのだが、「68歳を超えて政治局入りしない」という引退ルールが共産党の内規にあるようで、これを現リーダーたちに当てはめると3年後に胡錦濤政権の主要人物の大半は引退することになる。いま政権内部では次期ナンバーワン、即ち党総書記(兼国家主席)の座を巡って虚虚实実の駆け引きや暗闘が始まっており、内外のメディアは、太子党(党政府高官を親に持つ二世グループ)、江沢民派、上海グループ、共青团派などと面白おかしく派閥の仕組みを解説している。玉石混交、諸説入り乱れるなかで最も説得力がある派閥区分はブルッキングス研究所チェン・リー上席研究員の主張する人民派(赤組)とエリート派(青組)の対立ではないだろうか。

リー氏によると人民派(赤組)とは高度成長の必要性は理解しつつも、貧富の格差是正や、環境問題など社会各層で多発する歪みの是正に力点を置き、調和のとれた社会作りを目指そうという党官僚グループ。胡錦濤主席の出身母体である共産主義青年団(以下共青团)出身者がここに集結している。一方エリート派(青組)とは、自由貿易や規制緩和を更に進め、沿岸部の高度成長を内陸部まで拡大させようとする実務家グループであり、これまで高度成長の恩恵を個人的にも受けてきた太子党や実業家、海外留学帰りのエリート層たちで構成されている。党政治局委員や書記、副総理、國務委員たちを、この2つの区分に当てはめ分類すると、その勢力が拮抗しているのがわかる。

両グループ共に目指す方向は富国強兵国家の建設にあり、文化大革命時代のように負ければ投獄のような激しいイデオロギー闘争ではなく、高度成長に対する力点の置き方に若干の違いがある程度である。赤組の代表は共青团の幹部経験者によって占められている。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

胡錦濤主席が最も信頼する筆頭副総理の李克強 (54)

党の人事を掌握する組織部長の李源朝 (59)

中国経済の牽引車 広東省の汪洋書記 (54)

一方、青組の代表は大物政治家を父に持つ太子党グループで、江沢民前主席との関係も良好な人物が多いといわれている。

国民的人気歌手 彭麗媛を夫人に持つ大本命の習近平 国家副主席 (56)

アジア金融危機とSARS 危機を水際で食い止めた危機管理のプロ、王岐山 副総理 (61)

重慶の間社会に敢然と挑戦して勇名を馳せた薄熙来 重慶市書記 (60)

中国政治を見ると、この2グループの対立構造を一つの切り口とする分析は必要である。但し、これが党人事を決定する唯一の要素ではないので、過信は禁物である。特に政治力に独特の強みを持つ青組には強烈な個性を持つ人物が多く、決して一枚岩の集団ではない。彼らの多くが太子党だが父親同士が犬猿の仲だったケースも多く、従って息子同士の仲も良いとは限らないのである。また太子党出身者ではあるが、共青団の幹部も経験して、赤組青組に跨る人物も少なくない。要は小学校の運動会のような単純な赤組と青組の合戦ではないのである。既に3年後を目指し合従連衡が始まって下り、権力闘争の激化による政治の不安定化を懸念する声が多いようだが、ものは考えようである。絶対権力者による後継指名と、権力闘争を経て選ばれた政権のどちらの安定度が高いか、中国現代史をよく吟味する必要がある。

12月に来日した習近平氏にとって、今回の訪日の成否が天皇陛下との会見にあったことは間違いない。少なくとも次期リーダーを目指す上で対外的な印象付けが必要な彼個人にとっては。

ただ陛下の出御を巡るひと悶着は謁見の申し込みが遅れた中国に非があるとはいえ、日本人として恥ずべき出来事であった。特に、特例扱いとして会見の設定を進めた行為を正当化するためのロジックとして、天皇の国事行為に関する憲法解釈が持ち出されたのはいただけない。そんなことは司法試験に合格した優秀な専門家連中にも任せればよいのであり、国政を司る日本の為政者たちが日々拳拳服膺すべきは皇室に対する配慮と畏敬の念なのである。

次期ニューリーダーとして天皇陛下との単独会見に成功した習近平。彼が青組のホープであることは徐々に鮮明になりつつある。3年後には赤組の李克強とのレースに決着がつき、敗れたほうが首相もしくは全人代の委員長に回ることになる。最大の興味は赤と青のラインを誰が切るかという点に尽きる。胡錦濤か、それとも胡錦濤と江沢民の合議によるのか、それとも政治局委員たちによる投票か？徐々に進みつつある党内民主の行方を占うリトマス試験紙である。赤か青か、切り方を間違えてドッカーン！と木っ端微塵になるのだけは隣国として勘弁してもらいたいものだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成21年12月25日

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合は、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集、売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### 株価指数先物 株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物 株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

